

パルモディア XR錠 0.2mg、パルモディア XR錠 0.4mg

【この薬は？】

販売名	パルモディア XR錠 0.2mg PARMODIA XR TABLETS 0.2mg	パルモディア XR錠 0.4mg PARMODIA XR TABLETS 0.4mg
一般名	ペマフィブラート Pemafibrate	
含有量 (1錠中)	0.2mg	0.4mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、高脂血症治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、核内受容体（PPAR α ）に結合し、標的となる遺伝子の発現を調節することで、血液中のトリグリセライド濃度を低下、HDL-コレステロール濃度を上昇させ、高脂血症を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

高脂血症（家族性を含む）

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にパルモディア XR錠に含まれる成分で過敏症のあった人

- ・ 肝臓に重篤な障害のある人、肝硬変の人、胆道閉塞のある人
- ・ 胆石のある人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・ シクロスポリン、リファンピシンを使用している人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・ 過去に胆石があった人
- ・ 腎臓に高度の障害がある人
- ・ 腎臓の機能に関する臨床検査値に異常が認められる人
- ・ 肝臓に軽度の障害がある人、または過去に肝臓に障害があった人
- ・ 授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬[シクロスポリン（サンディミュン、ネオーラル）、リファンピシン（リファジン）]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	パルモディア XR 錠 0.2mg	パルモディア XR 錠 0.4mg
一回量	0.2mg（最大0.4mg）	
飲む回数	1日1回	

* 1日1回0.2mgを0.4mgまで増量されることがありますが、腎臓に高度の障害がある人では1日1回0.2mgを超える量に増量されることはありません。

●どのように飲むか？

- ・ コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

- ・ 決して2回分を一度に飲まないでください。
- ・ 飲み忘れた場合は、気がついたときに、1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

- ・ 異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ 使用中は血中の脂質値を定期的に検査し、治療に対する反応が認められない場合には投与が中止されます。
- ・ 使用中は、定期的に肝機能の検査やLDL-Cコレステロール値の検査が行われます。
- ・ 腎臓の機能に関する臨床検査値に異常が認められる人に、HMG-CoA還元酵素阻害薬（プラバスタチンナトリウム、シンバスタチン、フルバスタチンナトリウムなど）を併用する場合には、急激な腎機能の悪化を伴う横紋筋融解症があらわれることがあるので、定期的に腎機能検査等が行われます。筋肉の痛

み、脱力感などの症状があらわれた場合には医師または薬剤師に相談してください。

- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・ 授乳している人は医師に相談してください。
- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力感、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、食欲不振、体がかゆくなる
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気
手・足	手足のこわばり、手足のしびれ
皮膚	皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉の痛み
尿	尿が赤褐色になる、尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	パルモディア XR 錠 0.2mg	パルモディア XR 錠 0.4mg
形状		
直径	6.1 mm	7.6 mm
厚さ	3.0 mm	3.9 mm
重さ	8.5 mg	16.8 mg
色・剤形	淡黄色、円形のフィルムコーティング錠	
識別コード	パルモディア XR 0.2	パルモディア XR 0.4
PTP シート		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ペマフィブラート
添加剤	結晶セルロース（粒）、含水二酸化ケイ素、ヒプロメロース、メタクリル酸コポリマーL、エチルセルロース、ステアリン酸 Mg、D-マンニトール、結晶セルロース、クロスポビドン、ヒドロキシプロピルセルロース、酸化チタン、クエン酸トリエチル、軽質無水ケイ酸、黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：興和株式会社 (<https://medical.kowa.co.jp/>)

くすり相談センター

電話：0120-508-514

03-3279-7587

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日・弊社休日を除く）